

「地域子ども・子育て支援事業(13事業)」について

資料 1-1-2

～平成29年度実績及び平成30年度の予定～（子ども・子育て支援総合計画 第5章 P32～42）

事業名	①利用者支援事業	担当課	こども課 母子保健課	該当ページ (33ページ)	第6章対応事業 NO. 1
-----	----------	-----	---------------	------------------	------------------

1.計画内容

事業概要	市が独自に養成した子育てケアマネジャーが、子育てについての相談に面接・電話で応じるとともに、保健師と一緒に産前・産後の保護者に子育てケアプランを作成します。
確保方策の内容	市で独自に養成している子育てケアマネジャーによる子育て相談の24時間受付並びに妊娠・出産から子育て支援までの切れ目のない支援の中核となる産前産後の保護者を主な対象とした子育てケアプランの作成を引き続き行います。

2.実績値

		※中間見直し後	25年度 (実績値のみ)	27年度	28年度	29年度	※30年度	※31年度
計画	①量の見込み	子育て相談件数	-	487件	514件	541件	389件	384件
		子育てケアプラン作成件数	-	4,262件	4,249件	4,227件	4,054件	4,105件
	②実績値	子育て相談件数	455件	376件	348件	399件	-	-
		子育てケアプラン作成件数	-	3,436件	3,836件	3,778件	-	-
	②-①	子育て相談件数	-	▲111件	▲166件	▲142件	-	-
		子育てケアプラン作成件数	-	▲826件	▲413件	▲449件	-	-

3.平成29年度実施状況と評価、今後の取組内容

平成29年度 実施状況と評価	実施状況	妊娠期、出産前後、子どもが1歳の誕生日前後の時期を対象に子育てケアプランを作成しました。また、子育てケアプランの効果測定のため、順天堂大学と共同で子育てケアプランを作成した保護者へのアンケートによる縦断調査や他地域との比較による検証を行いました。そして、保健師等の専門職が全ての妊産婦等の状況を継続的に把握し、必要に応じて関係機関のサービスにつなぐ等の支援を行いました。					
	予算額	30,252千円		決算額	28,571千円		
	評価	A	妊娠期～子どもが1歳6か月頃に子育てケアプランを基本3回作成し、切れ目のなく支援を行うことで保護者の不安感解消や市のサポート利用向上にもつながっています。また、見守りが必要な方には地区担当保健師などにつなぎ継続的な支援を行っています。また、保健師等の専門職が妊産婦等に対して広く相談を行いながら、必要に応じて支援を行いました。				
平成30年度事業予定と今後の課題		平成30年5月より市役所日曜開庁時にも子育てケアプラン(1回目:妊娠期)の作成を開始しました。引き続き、基本3回の子育てケアプラン作成や保健師と連携した継続的な支援を行います。また、保健師等の専門職による早期の支援を実施していきます。					

事業名	②地域子育て支援拠点事業	担当課	こども課 保育幼稚園課	該当ページ	第6章対応事業
				(34ページ)	NO.5

1.計画内容

事業概要	認可保育園に併設されている子育て支援センターや「つどいの広場」で、親子が交流できる場や子育てに関する相談・情報を提供します。
確保方策の内容	各施設がそれぞれの特色を活かし、利用者の確保に努めます。

2.計画値に対する量の確保状況

※中間見直し後		25年度 (実績値のみ)	27年度	28年度	29年度	※30年度	※31年度
計画	①量の見込み	-	83,312人日	85,916人日	85,092人日	90,776人日	91,492人日
	②確保方策	-	11箇所	11箇所	11箇所	11箇所	11箇所
③実績値		11箇所	11箇所	11箇所	11箇所	-	-
③-②		-	0箇所	0箇所	0箇所	-	-
※延べ利用者数(保護者)(実績)		40,545人日	45,028人日	44,484人日	40,292人日	-	-
※延べ利用者数(子ども)(実績)		45,019人日	50,848人日	49,576人日	47,893人日	-	-

3.平成29年度実施状況と評価、今後の取組内容

平成29年度 実施状況と 評価	実施状況	市内に9ヶ所ある地域子育て支援センターの運営を、2か所は直営で、7か所は民間で行っています。平成30年3月末現在の同事業の利用者数は、延べ71,387人で、各支援センター別の延べ利用者数は、浦安市子育て支援センター31,358人・高洲保育園子育て支援センター6,366人(直営)、海園の街保育園子育て支援センター4,758人、浦安駅前保育園子育て支援センター4,919人、入船北保育園子育て支援センター5,358人、しおかぜ保育園子育て支援センター3,456人、ポピンズナーサリースクール新浦安子育て支援センター5,133人、弁天保育園子育て支援センター7,079人、愛和元町保育園子育て支援センター2,960人となっています。また、市内に2ヶ所あるつどいの広場では、堀江で9,218人、明海で7,580人の利用となっています。				
	予算額	89,534千円	決算額	86,609千円		
	評価	A	様々な事業やイベントを行う地域子育て支援センターが市内に9ヶ所あることで、利用者は場所や開催日を選択し、複数のセンターを利用しています。また、これに併せ、市内2ヶ所にあるつどいの広場も同様に利用されています。			
平成30年度事業予定と今後の課題	引き続き11ヶ所を実施することで、地域の子育て拠点として、今後も地域支援活動を実施していきます。					

事業名	③一時預かり事業 1) 幼稚園、幼稚園型認定こども園における在園児を対象とした預かり保育	担当課	保育幼稚園課	該当ページ	第6章対応事業
				(35ページ)	No.31

1. 計画内容

事業概要	幼稚園型認定こども園で行う預かり保育のほか、家庭保育を行っている家庭で一時的に子どもの保育が困難になった場合に、保育園などで一時預かりを行います。
確保方策の内容	園全体の状況を見極め、一時預かり事業の調整を図ります。

2. 計画値に対する量の確保状況

		※中間見直し後	25年度 (実績値のみ)	27年度	28年度	29年度	※30年度	※31年度
計画	①量の見込み	1号認定による利用		33,513人日	31,686人日	30,736人日	15,403人日	15,403人日
		2号認定による利用		48,092人日	45,470人日	44,107人日	32,224人日	35,446人日
	②確保方策		-	101,260人日	101,260人日	101,260人日	72,275人日	80,850人日
			-	13箇所	13箇所	13箇所	9箇所	11箇所
③実績値			-	70,470人日	70,470人日	70,470人日	-	-
			11箇所	8箇所	8箇所	8箇所	-	-
③-②			-	▲30,790人日	▲30,790人日	▲30,790人日	-	-
			-	▲5箇所	▲5箇所	▲5箇所	-	-
※利用者数(実績)		1号認定による利用	33,898人日	12,773人日	15,068人日	13,573人日	-	-
		2号認定による利用	48,927人日	37,984人日	32,224人日	31,229人日	-	-

3. 平成29年度実施状況と評価、今後の取組内容

平成29年度 実施状況と評価	実施状況	平成30年3月末現在の一時預かり利用者数(1号認定) 若草認定こども園 1,288人日、みなみ認定こども園 1,683人日、北部認定こども園 1,509人日 堀江認定こども園 882人日、美浜南認定こども園 1,813人日、舞浜認定こども園 2,300人日 美浜北認定こども園 1,565人日、明海認定こども園 2,533人日					
	予算額	6,319千円		決算額	13,101千円		
	評価	B	当初見込んでいた私立幼稚園の新制度への移行が行われていないため、実績値が確保方策より少なくなっていますが、公立幼稚園は計画通り幼稚園型認定こども園へ順次移行し、一時預かり事業を行っています。				
平成30年度事業予定と今後の課題	平成30年4月に、見明川幼稚園が認定こども園に移行し、実施園が9園となりました。平成31年度は、2園の幼稚園型認定こども園への移行を予定しています。						

事業名	③一時預かり事業 2) 保育園・幼稚園・一時預かり専用施設で実施する一時預かり、ファミリー・サポート・センター（就学前病後児対応を除く）、子育て短期支援事業（トワイライトステイ）	担当課	こども課 保育幼稚園課	該当ページ	第6章対応事業
				(36ページ)	NO.31、38

1. 計画内容

① 計画内容	確保方策の内容	<p>【保育園・幼稚園・一時預かり専用施設での一時預かり】 実施可能な新規開設園等で一時預かり事業を拡大します。</p> <p>【ファミリー・サポート・センター事業（就学前 病後児対応除く）】 提供体制の供給量と質の充実を図るとともに、未登録会員や依頼会員への事業周知を十分に行い、事業を実施します。</p> <p>【子育て短期支援事業（トワイライトステイ）】 現在の提供体制を維持して引き続き実施する一方で、現在の実施地が利用者にとって遠方であることから、実施先の変更を検討し、利便性の向上を図ります。</p>
--------	---------	--

2. 計画値に対する量の確保状況

※中間見直し後		25年度 (実績値のみ)	27年度	28年度	29年度	※30年度	※31年度	
計画	①量の見込み	-	21,820人日	21,865人日	21,909人日	33,069人日	33,380人日	
	②確保方策	保育園・幼稚園・一時預かり専用施設	-	34,912人日	39,712人日	44,512人日	41,405人日	41,405人日
			-	14箇所	15箇所	16箇所	16箇所	16箇所
		ファミリー・サポート・センター（就学前）※病後児対応除く	-	3,700人日	3,800人日	3,900人日	3,250人日	3,300人日
			-	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
		子育て短期支援事業（トワイライトステイ）	-	182人日	182人日	182人日	90人日	90人日
	-	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		
③実績値	保育園・幼稚園・一時預かり専用施設	-	30,845人日	32,947人日	41,774人日	-	-	
		9箇所	13箇所	13箇所	15箇所	-	-	
	ファミリー・サポート・センター（就学前）※病後児対応除く	-	3,970人日	3,800人日	3,900人日	-	-	
		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	-	-	
	子育て短期支援事業（トワイライトステイ）	-	182人日	182人日	182人日	-	-	
1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	-	-		
③-②	保育園・幼稚園・一時預かり専用施設	-	▲4,067人日	▲6,765人日	▲2,738人日	-	-	
		-	▲1箇所	▲2箇所	▲1箇所	-	-	
	ファミリー・サポート・センター（就学前）※病後児対応除く	-	270人日	0人日	0人日	-	-	
		-	0箇所	0箇所	0箇所	-	-	
	子育て短期支援事業（トワイライトステイ）	-	0人日	0人日	0人日	-	-	
		-	0箇所	0箇所	0箇所	-	-	
※利用者数（実績）		20,719人日	38,965人日	36,731人日	40,107人日	-	-	

3.平成29年度実施状況と評価、今後の取組内容

平成29年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>【保育園・幼稚園・一時預かり専用施設での一時預かり】 平成30年3月末現在の利用状況(延べ人数)36,690人 東野保育園1,351人、高洲保育園1,587人、弁天保育園2,239人、浦安駅前保育園1,352人、しおかぜ保育園936人、ポピンズナーサリースクール新浦安1,519人、愛和元町保育園2,016人、ポピンズナーサリースクール浦安814人、渋谷教育学園浦安こども園932人、富岡すまいるルーム4,695人、日の出すまいるルーム8,332人、青葉すまいるルーム3,383人、保育室アリエ3,158人、保育室ゆるり2,106人、明海つどいの広場子育てテラスふらっと2,270人</p> <p>【ファミリー・サポート・センター事業(就学前 病後児対応除く)】 平成30年3月末現在の利用状況(延べ人数)3,417人 ファミリー・サポート・センターの運営を浦安市社会福祉協議会に委託し、実施しました。主な活動内容としては、保育所・幼稚園(こども園)の送り迎え及び帰宅後の預かり、買い物等の外出の場合の援助、保護者の短時間・臨時就労の場合の援助、保護者等の病気・その他急用の場合の援助などを行いました。</p> <p>【子育て短期支援事業(トワイライトステイ)】 トワイライトステイ(夜間養護、日帰り養護事業)は、こどもショートステイと一体で実施しています。平成29年度は利用がありませんでした。</p>		
	予算額	220,301千円	決算額	207,953千円
	評価	A	(保)保育園・幼稚園・一時預かり専用施設での一時預かりについては、計画時の確保方策よりも整備が遅れていますが、量の見込みを上回る確保を行うことができます。	
		A	(保)ファミリー・サポート・センター(就学前)については、利用実績は昨年度と比較し減少しましたが、登録会員数は増加しており、計画時の確保方策で定める受け入れ枠の確保はできていますので、事業の推進が図られています。	
A		(子)平成28年度から市川市内の児童福祉施設に実施先を変更しており、保護者の利便性向上を図りました。		
平成30年度事業予定と今後の課題	<p>【保育園・幼稚園・一時預かり専用施設での一時預かり】 平成30年5月より、新浦安きらきら保育園において、新たに一時預かり事業を開設する予定です。</p> <p>【ファミリー・サポート・センター事業(就学前 病後児対応除く)】 援助の担い手である「まかせて会員」の会員数については、過去5年間、増加傾向を示しています。今後は、援助の担い手の人材養成や会員の確保に引き続き努めるとともに、提供会員及び依頼会員の双方が安心のもとに継続して活動・利用できるよう、円滑かつ適切な利用調整を行っていきます。</p> <p>【子育て短期支援事業(トワイライトステイ)】 平成30年度も引き続き受け入れを行っていくとともに、市内における当事業の実施に向けた施設及び運営についても引き続き検討を行います。</p>			

事業名	④乳児家庭全戸訪問事業	担当課	母子保健課	該当ページ	第6章対応事業
				(37ページ)	NO.12

1.計画内容

事業概要	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対して助言や適切なサービス提供を行います。
確保方策の内容	実施体制(職員人数):個人委託助産師8名、母子保健推進員35名 実施機関:健康こども部母子保健課

2.計画値に対する量の確保状況

		※中間見直し後	25年度 (実績値のみ)	27年度	28年度	29年度	※30年度	※31年度
計画	①量の見込み	赤ちゃん訪問: 訪問人数	-	1,374人	1,362人	1,351人	1,370人	1,363人
		母子保健推進員: 訪問人数	-	1,374人	1,362人	1,351人	1,370人	1,363人
	訪問率		-	100%	100%	100%	100%	100%
②実績値		赤ちゃん訪問	1,255人	1,241人	1,263人	1,320人	-	-
		母子保健推進員	1,232人	1,098人	1,258人	1,265人	-	-
②-①		赤ちゃん訪問	-	▲133人	▲99人	▲31人	-	-
		母子保健推進員	-	▲276人	▲104人	▲86人	-	-
訪問率			92.40%	96.34%	94.00%	96.00%	-	-

3.平成29年度実施状況と評価、今後の取組内容

平成29年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>【赤ちゃん訪問】 助産師・保健師により生後0～3か月児のいる家庭への訪問を行っています。母親が心身ともに健康な生活が送れるように、また、乳児の健康状態を把握するとともに、家庭での子育てが円滑に行われるよう、相談や技術指導をしています。年11回のカンファレンスにて、スタッフ間での情報共有・連携を行い、指導内容向上のための研修会(年1回)も実施しています。</p> <p>【母子保健推進員】 母子保健推進員30名で活動しています。子育てしている家庭と行政のパイプ役として、育児の不安軽減に努めています。2～3か月児のいる家庭への訪問活動を行っています。定例会を年に11回(研修を含む)実施し、知識の向上・情報共有等行っています。</p>					
	予算額	11,090千円	決算額	10,552千円			
	評価	B	長期里帰りする方が増え、訪問率は90%となっています。				
平成30年度事業予定と今後の課題		母子保健推進員は定年等による退職者が多く見込まれ、活動が伝承できるよう努めます。新生児・妊産婦訪問指導は、生後2～3か月の訪問が多い現状ですが、育児不安・困難感を感じることが最も多いのは産後1か月です。他事業との連携を密にし、出生連絡票受理後、早めに連絡し訪問につなげるよう努めます。					

事業名	⑤養育支援訪問事業	担当課	こども家庭支援センター	該当ページ	第6章対応事業
				(38ページ)	NO.76

1. 計画内容

事業概要	家庭相談員や保健師等が、乳児家庭全戸訪問事業等により把握した子育てへの不安感・孤立感が高い家庭や、児童虐待に至る可能性が高いと考えられる家庭、若年保護者の家庭へ訪問し、助言・指導を行います。
確保方策の内容	実施体制(職員人数):こども家庭支援センター職員9名 実施機関:こども部こども家庭支援センター

2. 計画値に対する量の確保状況

		※中間見直し後	25年度 (実績値のみ)	27年度	28年度	29年度	※30年度	※31年度
計画	①量の見込み	訪問世帯数	-	40世帯	40世帯	40世帯	50世帯	50世帯
		延べ訪問世帯数	-	180世帯	180世帯	180世帯	250世帯	250世帯
	②実績値	訪問世帯数	26世帯	48世帯	79世帯	84世帯	-	-
		延べ訪問世帯数	167世帯	255世帯	291世帯	255世帯	-	-
	②-①	訪問世帯数	-	8世帯	39世帯	44世帯	-	-
		延べ訪問世帯数	-	75世帯	111世帯	75世帯	-	-

3. 平成29年度実施状況と評価、今後の取組内容

平成29年度 実施状況と 評価	実施状況	家庭での養育力が不足している家庭に訪問し、育児に関する助言を行うほか、妊娠中から継続して支援を行っている家庭の妊婦が出産した場合は、家庭内での沐浴など実際に養育の手技をやって見せるなどの支援を行っています。					
	予算額	501千円		決算額	502千円		
	評価	A	地域の特性上、近隣に支援が期待できる親族や知人がいない家庭も多いことから、保護者に具体的な育児を教示したり、理由を問わない一時預かりなどの社会資源の紹介を行うことで、各家庭に寄り添った対応を行っています。				
平成30年度事業予定と今後の課題	今後も、母子保健課と連携し子育てに対して問題のある家庭や、児童虐待に至る可能性が高いと考えられる家庭に支援及び相談対応の充実に努めます。						

事業名	⑥ファミリー・サポート・センター (就学児)	担当課	こども課	該当ページ	第6章対応事業
				(38ページ)	NO. 38

1.計画内容

事業概要	育児の援助を受けたい人(おねがい会員)、育児の援助を行いたい人(まかせて会員)、両方とも希望をする人(どっちも会員)が、地域の中で支えあいながら子育てを行う会員組織です。会員相互の援助活動により、子育てをする家庭の育児を支援します。
確保方策の内容	提供体制の供給量と質の充実を図るとともに、未登録会員や依頼会員への事業周知を十分に行い、事業を実施します。

2. 計画値に対する量の確保状況

		※中間見直し後	25年度 (実績値のみ)	27年度	28年度	29年度	※30年度	※31年度
計画	①量の見込み	低学年	-	1,344人日	1,338人日	1,331人日	2,177人日	2,121人日
		高学年	-	238人日	255人日	273人日	357人日	336人日
	②確保方策		-	1,720人日	1,760人日	1,800人日	2,600人日	2,600人日
③実績値		-	1,980人日	2,420人日	2,300人日	-	-	
③-②		-	260人日	660人日	500人日	-	-	
※利用者数(実績)	低学年		1,351人日	1,773人日	2,208人日	2,168人日	-	-
	高学年		222人日	199人日	209人日	117人日	-	-

3.平成29年度実施状況と評価、今後の取組内容

平成29年度 実施状況と 評価	実施状況	ファミリー・サポート・センターの運営を浦安市社会福祉協議会に委託し、実施しました。主な活動内容としては、学童保育(児童育成クラブ)の送り迎え及び帰宅後の預かり、買い物等の外出の場合の援助、保護者の短時間・臨時就労の場合の援助、保護者等の病気・その他急用の場合の援助などを行いました。				
	予算額	13,517千円	決算額	13,517千円		
	評価	A	子育て相談やケアプラン作成時での紹介、まかせて会員とおねがい会員のマッチング向上、管理ソフトによる業務効率向上等により、計画時の見込み人数を超えた利用実績となっています。			
平成30年度事業予定と今後の課題		援助の担い手である「まかせて会員」の会員数については、過去5年間、増加傾向を示しています。今後は、援助の担い手の人材養成や会員の確保に引き続き努めるとともに、提供会員及び依頼会員の双方が安心のもとに継続して活動・利用できるよう、円滑かつ適切な利用調整を行っていきます。				

事業名	⑦子育て短期支援事業 (こどもショートステイ)	担当課	こども課	該当ページ	第6章対応事業
				(39ページ)	N037

1.計画内容

事業概要	保護者が病気、看護、出産、出張、育児疲れなどで、一時的に子どもの養育が困難になったときに保護者に代わり施設において保育を行います。 平成30年4月現在、市川市の児童福祉施設で実施しています。
確保方策の内容	現在の提供体制を維持して引き続き実施する一方で、現在の実施地が利用者にとって遠方であることから、実施先の変更を検討し、利便性の向上を図ります。 実施可能日数は、年末年始を除く359日とします。

2.計画値に対する量の確保状況

※中間見直し後		25年度 (実績値のみ)	27年度	28年度	29年度	※30年度	※31年度
計画	①量の見込み	-	250人日	246人日	241人日	107人日	108人日
	②確保方策	-	365人日	365人日	365人日	359人日	359人日
③実績値		-	365人日	365人日	365人日	-	-
③-②		-	0人日	0人日	0人日	-	-
※利用者数(実績)		23人日	22人日	98人日	118人日	-	-

3.平成29年度実施状況と評価、今後の取組内容

平成29年度 実施状況と 評価	実施状況	平成30年3月末現在の利用状況(延べ利用者数)118人 89泊 疾病、出産、看護などの理由で児童の養育が一時的に困難となった家庭の児童を一時的に施設等で保護する「こどもショートステイ事業」について、市川市の社会福祉法人「千葉ベタニヤホーム」に事業を委託して行いました。				
	予算額	2,672千円	決算額	2,508千円		
	評価	A	平成28年度より実施先を市川市内に変更し、利用しやすい環境を築けたことにより、利用人数が増加し、身近に子どもを預けることができる親族や友人がいない市民にとってのセーフティーネットとしての機能を果たすことができています。			
平成30年度事業予定と今後の課題	平成30年度も引き続き受け入れを行っていくとともに、市内における当事業の実施に向けた施設及び運営についても引き続き検討を行います。					

事業名	⑧延長保育事業	担当課	保育幼稚園課	該当ページ	第6章対応事業
				(39ページ)	NO. 34

1. 計画内容

事業概要	認可保育園において、保護者の就労形態、通勤時間などにより、基本保育時間内にお迎えができない場合、基本保育時間の前後に保育時間を延長して子どもを預かります。
確保方策の内容	保育標準時間と保育短時間を設定することにより、新たな延長保育時間を設定します。また、新規開設園でも延長保育を実施します。

2. 計画値に対する量の確保状況

※中間見直し後		25年度 (実績値のみ)	27年度	28年度	29年度	※30年度	※31年度
計画	①量の見込み		1,907人	1,936人	1,986人	2,468人	2,629人
	②確保方策	-	1,925人	1,970人	2,025人	3,231人	3,442人
		-	24箇所	24箇所	24箇所	30箇所	34箇所
③実績値		-	2,752人	2,882人	2,982人	-	-
		18箇所	22箇所	25箇所	27箇所	-	-
③—②		-	827人	912人	957人	-	-
		-	▲2箇所	1箇所	3箇所	-	-
※利用者数(実績)		1,574人	1,994人	2,201人	2,099人	-	-

3. 平成29年度実施状況と評価、今後の取組内容

平成29年度 実施状況と 評価	実施状況	平成29年度は、認可保育所25園に加え、認可保育所2箇所が開所し、延長保育を実施しています。 延長保育を実施する保育所が増えたことにより、保護者の利便性が向上しました。				
	予算額	255,341千円	決算額	204,490千円		
	評価	A	延長保育を実施する保育所が増えたことにより、保護者の利便性が向上しました。			
平成30年度事業予定と今後の課題	平成30年4月より、新たに保育所3箇所が開園し、延長保育を実施する予定です。今後も保護者の利便性向上を図っていきます。					

事業名	㊟病児・病後児保育事業	担当課	こども課 保育幼稚園課	該当ページ (40ページ)	第6章対応事業 NO33、38
-----	-------------	-----	----------------	------------------	--------------------

1. 計画内容

※平成27年4月現在、浦安市では病児保育事業を実施していません。

事業概要	病気や病後回復のため、集団保育や家庭での保育が困難な子ども(病児・病後児)を病院や保育園に併設された施設で預かります。
確保方策の内容	<p>【病後児保育事業(病院・保育園併設型)】 引き続き保育園併設の2施設で病後児保育事業を実施します。</p> <p>【病児保育事業(病院併設型)】 順天堂大学医学部附属浦安病院での病児・病後児保育事業の開始、及び浦安中央病院病後児保育室を病後児対応型から病児・病後児対応型へ変更するため協議します。</p> <p>【ファミリーサポートセンター事業(病後児)】 病院併設型の病児保育開設に伴い、平成30年度以降居宅型である当事業は終了します。</p>

2. 計画値に対する量の確保状況

※中間見直し後		25年度 (実績値のみ)	27年度	28年度	29年度	※30年度	※31年度	
計画	①量の見込み	-	683人日	683人日	685人日	1,833人日	1,842人日	
	②確保方策	病後児保育事業 【病院・保育園併設型】	-	3,132人日	3,132人日	3,132人日	1,960人日	1,960人日
		病児保育事業 【病院併設型】	-	3箇所	3箇所	3箇所	2箇所	2箇所
		ファミリー・サポート・センター事業(病後児) 【居宅型】	-	70人日	70人日	70人日	-	-
		ファミリー・サポート・センター事業(病後児) 【居宅型】	-	1箇所	1箇所	1箇所	-	-
③実績値	病後児保育事業 【病院・保育園併設型】	-	2,376人日	3,120人日	3,124人日	-	-	
	病児保育事業 【病院併設型】	2箇所	3箇所	3箇所	3箇所	-	-	
	ファミリー・サポート・センター事業(病後児) 【居宅型】	-	70人日	70人日	70人日	-	-	
	ファミリー・サポート・センター事業(病後児) 【居宅型】	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	-	-	
③-②	病後児保育事業 【病院・保育園併設型】	-	▲756人日	▲12人日	▲8人日	-	-	
	病児保育事業 【病院併設型】	-	0箇所	0箇所	0箇所	-	-	
	ファミリー・サポート・センター事業(病後児) 【居宅型】	-	0人日	0人日	0人日	-	-	
	ファミリー・サポート・センター事業(病後児) 【居宅型】	-	0箇所	0箇所	0箇所	-	-	
※利用者数(実績)		449人日	464人日	552人日	581人日	-	-	

3. 平成29年度実施状況と評価、今後の取組内容

平成29年度実施状況と評価	実施状況	<p>【病後児保育事業(病院・保育園併設型)】 延利用人数 浦安中央病院 405人 ポピンズナーサリースクール浦安 79人 ポピンズナーサリースクール新浦安 73人</p> <p>【病児・病後児保育事業(病院併設型)】 平成30年3月から、順天堂大学医学部附属浦安病院において、新たに病児・病後児保育を開始しました。 延利用人数 24人</p> <p>【ファミリーサポートセンター事業(病後児)】 ファミリー・サポート・センター事業の一環として、病後児預かりを行う会員(特別まかせて・どっちも会員の会員登録や説明会の実施、病後児預かりに関する問い合わせへの対応等を行いました。</p>				
	予算額	32,885千円	決算額	32,885千円		
	評価	A	(病後)計画どおりの実施状況です。			
平成30年度事業予定と今後の課題	A	(病児)計画どおり、順天堂大学医学部附属浦安病院において病児保育事業を開始しました。				
	B	(ファ)事業実施の体制はとれており、利用についての問い合わせはあるものの、実際の利用にはつながっていません。				
		<p>【病後児保育事業(病院・保育園併設型)】 クリニックにおける病児・病後児保育の実施に向けて取り組みます。</p> <p>【病児保育事業(病院併設型)】 平成30年度に、浦安中央病院の病後児保育事業を、病児・病後児保育事業に移行しました。 クリニックにおける病児・病後児保育の実施に向けて取り組みます。</p> <p>【ファミリーサポートセンター事業(病後児)】 事業の見直しを行い、平成24年度の事業開始から利用実績がないことや、病院・保育所併設型の病児・病後児保育事業が推進されていることから、平成30年10月から、病後児預かりの事業を終了します。</p>				

事業名	⑩放課後児童健全育成事業	担当課	青少年課	該当ページ	第6章対応事業
				(41ページ)	No. 49

1. 計画内容

事業概要	昼間保護者が留守となる家庭の児童及び小学校6年生までの療育手帳等の交付を受けている特別な支援を必要とする児童を対象として、小学校区ごとに設置した児童育成クラブで放課後児童支援員のもと、放課後に支援を行います。
確保方策の内容	優先度の高い低学年及び高学年のうち、4年生並びに全ての障がい児の受入れ体制を確保します。また、その他の5・6年生の入会需要に対しては、別途専用の部屋の確保や安心して過ごせる環境や運営体制が必要であることから、小学校の余裕教室の活用や異年齢児交流促進事業の実施、児童センターの整備、各公民館事業の充実を図り、放課後の居場所づくりを進めます。

2. 計画値に対する量の確保状況

		※中間見直し後	25年度 (実績値のみ)	27年度	28年度	29年度	※30年度	※31年度
計画	①量の見込み	低学年	-	1,557人	1,531人	1,518人	1,879人	1,843人
		高学年	-	540人	541人	515人	470人	460人
	確保方策	低学年	-	1,557人	1,531人	1,518人	1,915人	1,916人
		高学年	-	461人	491人	499人	479人	478人
		②合計	-	2,018人	2,022人	2,017人	2,394人	2,394人
③実績値	低学年	-	2,088人	2,136人	2,196人	-	-	
	高学年	-				-	-	
③-②	低学年	-	70人	114人	179人	-	-	
	高学年	-				-	-	
※入会者数(実績)	低学年	-	1,585人	1,693人	1700	-	-	
	高学年	-	348人	389人	280	-	-	

3. 平成29年度実施状況と評価、今後の取組内容

平成29年度 実施状況と評価	実施状況	入会児童数の増加に伴い、施設の狭隘化への対応を図るため、小学校の余裕教室などの活用を行い、待機児童が生じないよう対応を図っています。 また、子どもたちが利用する児童育成クラブ施設において、生活環境の改善を図るために、劣化や不具合などに対して、引き続き補修を行っています。					
	予算額	918,893千円		決算額	870,047千円		
	評価	A	入会児童数の増加に伴い、児童育成クラブ施設の整備を行い、子どもと家庭を支援する子育て環境づくりに大きく寄与しています。				
平成30年度事業予定と今後の課題	南小学校地区児童育成クラブ整備事業 高洲北小学校地区児童育成クラブ整備事業						

事業名	⑪妊婦健康診査	担当課	母子保健課	該当ページ	第6章対応事業
				(42ページ)	NO.11

1.計画内容

事業概要	妊婦健康診査の徹底を図り、異常の早期発見に努め、適切な治療や指導等により、母体及び胎児の健康を促すことを目的として、妊娠期間中に合計14回まで、健康診査受診票を利用して医療機関で健診を受けることができます。 受診票を利用できない医療機関で受診した場合は、健康診査費用の助成をします。
確保方策の内容	実施場所:全国医療機関 実施時期:通年実施 実施体制:医療機関との委託契約 検査項目:国が定める基本的な妊婦健康診査項目

2.計画値に対する量の確保状況

		※中間見直し後	25年度 (実績値のみ)	27年度	28年度	29年度	※30年度	※31年度
計画	①量の見込み	受診票配付件数	-	1,500件	1,500件	1,500件	1,500件	1,500件
		健診回数 (受診人数×1人あたりの受診回数)	-	21,000回	21,000回	21,000回	21,000回	21,000回
	②実績値	受診票配付件数	1,460件	1,360件	1,459件	1,426件	-	-
		健診回数 (受診人数×1人あたりの受診回数)	17,107回	16,460回	17,840回	17,065回	-	-
	②-①	受診票配付件数	-	▲140件	▲41件	▲74件	-	-
		健診回数 (受診人数×1人あたりの受診回数)	-	▲4,540回	▲3,160回	▲3,935回	-	-

3.平成29年度実施状況と評価、今後の取組内容

平成29年度 実施状況と 評価	実施状況	妊娠判明後、母子健康手帳交付時に窓口にて妊婦健康診査受診票14回分を交付しています。 転入妊婦に関しても必要枚数を転入前の受診状況に合わせ交付しています。 里帰り出産等で受診票を利用できない医療機関で受診した場合は、後日必要書類を持参し手続きをしてもらい、対応する健康診査費用を助成しています。					
	予算額	123,806千円	決算額	123,793千円			
	評価	A	妊娠期間中必要な回数の受診票(新規・転入ともに)を交付しています。全国の医療機関で妊婦健康診査を受けられています。				
平成30年度事業予定と今後の課題	引き続き母子健康手帳交付時に妊婦健康診査の必要性を伝え受診を促します。 全国の医療機関で妊婦健康診査を受診出来るようにし、受診票を利用できない医療機関で受診した場合、受診票の助成範囲内で費用を助成します。						

事業名	⑫実費徴収に係る補足給付を行う事業	担当課	保育幼稚園課	該当ページ	第6章対応事業
				(42ページ)	-

1.計画内容

事業概要	生活保護受給者世帯の子どもが、特定教育・保育施設等の利用をする際に、必要とされる日用品・文房具等の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用の補助を行います。
------	--

2.平成29年度実施状況と評価、今後の取組内容

平成29年度 実施状況と 評価	実施状況	生活保護受給者世帯の子どもが、特定教育・保育施設等の利用をする際に、必要とされる日用品・文房具等の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用の補助を行いました。			
	予算額	211千円		決算額	9千円
	評価	A	教材費・行事費用を助成することで、保護者の経済的負担を軽減しました。		
平成30年度事業予定と今後の課題	利用者が低迷していることが課題となっています。引き続き事業の周知を行い、保護者の経済的負担軽減を図っていきます。				

事業名	⑬多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	担当課	保育幼稚園課	該当ページ	第6章対応事業
				(42ページ)	-

1.計画内容

事業概要	教育・保育施設等に新規参入する事業者に対して、保育士OB等の事業経験のある者を活用した巡回支援等(事業運営や事業実施に関する支援及び実地支援、相談助言等)を行います。
------	---

2.平成29年度実施状況と評価、今後の取組内容

平成29年度 実施状況と 評価	実施状況	家庭的保育者の不安や孤立感をなくし、相談や、保育園職員との関わりを築くために、保育幼稚園課の保育士が定期的に家庭的保育者宅へ巡回し、サポートしました。 家庭的保育者 6名 延72回			
	予算額	千円		決算額	千円
	評価	A	計画どおり、サポートを行いました。		
平成30年度事業予定と今後の課題	引き続き、家庭的保育者に対するサポートを行います。巡回の回数については、見直しを行います。				